

平成26年8月27日

8年生保護者様

平成26年度 佐賀県学習状況調査結果の分析について

小城市立小中一貫校
芦刈観瀾校
校長 納富博文

平成26年4月22日に中学1・2年生を対象として「佐賀県学習状況調査」が実施されました。内容は国語・数学の2教科および学習・生活に関する調査でした。その結果を分析し、本校生徒の全体的な傾向と今後の指導について検討いたしましたのでお知らせいたします。なお、生徒一人一人の学習の状況につきましては、1学期末に「学習状況シート」を配布しております。また、家庭学習の時間の確保など、御家庭の協力が必要です。基本的な生活習慣の確立が学力に影響を及ぼすとも言われています。御家庭でもよろしく御指導お願いいたします。

	分析結果	今後の指導について
国語	<p>○全体の正答率は、県平均をやや上回っている。 ○観点別では、「話す・聞く」と「書く」は県平均を大きく上回っており、「読む」と「言語事項」は県平均と同程度である。 ○立場や根拠を明らかにして記述するといった、条件を踏まえたうえで答える問題の正解率が低い。</p>	<p>○与えられた条件や指定された書き方への対応は苦手である。定期的に100～150字程度の条件作文に取り組みせ、模範解答と比較して推敲させる指導を行っていく。 ○読み取りを確実に行う力が必要である。小テスト形式による学習の確かめを小刻みに取り入れ、書く力の育成と併せた指導を行っていく。</p>
数学	<p>○全体の正答率は、県平均をやや下回っている。 ○観点別では、「見方や考え方」と「知識・理解」は県平均と同程度であるが、「技能」は県平均を大きく下回っている。 ○「指数をふくむ計算」「文字式に数値をあてはめる計算」の正答率が低く、習得が十分でない。 ○小数と分数が混じった乗法・除法の計算、文字を使って関係を式に表す問題の正解率は、県平均を下回っていた。</p>	<p>○分析結果より、技能の定着が不十分であることが分かった。特に、「指数をふくむ計算」「文字式に数値をあてはめる問題」は習得が不十分である。その他の計算問題と合わせて週末課題で補っていく。また、小テストを繰り返し行い、定着が不十分な生徒には、昼休みや放課後を利用した補充指導を行っていく。</p>
生活に関する調査	<p>○各教科にわたり調べ学習を積極的に取り組み、情報収集や整理を行っている。 ○小学校からの学習方法が確立されていることや、中学校での継続的な学習指導で、グループや全体の場で自分の考えなどを相手に分かるように工夫することができている。 ○夢や目標を持って学習に取り組むわけではなく、なんとなく毎日の生活を送っている生徒が多い。</p>	<p>○成績ファイルを活用し、間違った問題をやり直したり、後でもう一度解いたりするようにさせる。 ○コミュニケーション活動を取り入れた授業の充実を図る。 ○キャリア教育の充実を目指す。具体的には、総合的な学習の時間や特別活動の時間をしっかり確保し、ねらいをはっきりとさせて授業に取り組みさせる。 ○朝の時間に読書週間や読書月間を設ける。</p>